

3・4ブロック第2回研究会 参観者用メモより(感想や意見)	同意の数
研究会全体で	
大変テンポの良い授業だった。児童も楽しいと思う。授業のリズム・テンポの大切さを感じた。	29
大変勉強になった。このような機会をさらに増やしていただければありがたい。	15
担任による日本語での説明は、大切にしたい。特に活動の初めの方では、活動の方法など、日本語で、全員がある程度の理解ができるようにするべきである。	12
ゲームにおいて、大人数から少人数へ、さらに、個人へと、人数を限定していくのは、大変良いと思う。ただし、個人が言えなかった場合のフォローを準備しておく必要がある。	11
リズムは大切であるが、常に早いリズムでは、ついていけない児童も多いと思う。早かったりゆっくりだったり、繰り返したりという・・・児童の様子により、担任が調整することが重要である。	7
ゲームは、できるだけ簡素化すべきである。その方が、本来の目的である英語の言葉や文への興味関心が高まり、意欲的に活動できると思う。ゲームの難易度を上げると、ゲームのおもしろさを味わうことができるが、本来の目的からは、遠ざかるのではないかと思う。	6
板書の工夫として、めあてやルールなどを書いておいた方が良いと思う。	6
発音とともに、ジェスチャーも重要だと思う。	6
発音については、特に5年生の初めの段階から、教師が正確に発音し、正しい発音に慣れさせるべきだと考える。初めに正しく教えないと、後からの修正が難しくなると思う。ベースとなるフレーズの正しい発音に、しっかりふれさせたい。	5
ゲームにおいて、一人一人に、発音させようという意図は、素晴らしいと思った。	5
児童の実態に合わせて、できる子にも、できない子にも、学習に参加できる工夫がたくさんあった。	4
導入部の学習(お絵かきゲーム)は、大変楽しかった。是非使いたい。このようないろいろな学習方法に関する研修をもっと受けたいと思った。	4
ゲームに、空白の時間を作らない工夫(他の児童への指示や見回り)がたくさんあり、勉強になった。	4
テンポよくリズムに乗って授業を進めることが大切であると思う。特に、飽きやすい子どもには魅力的だと思う。	2
2つの模擬授業を対比的に考えることができた。大変有意義な研修となった。	2
クリスマス・クロスゲームは、同じ児童がつまずいてしまうようなケースがあった。その場合の対策はどうすればよいだろうか。	1
発音する際は、リズムが大切であるが、練習する単語や文によっては、リズムがとれない場合もある。そのような場合は、どうしたらよいだろうか。	1
学習の楽しさは、分かる楽しさであり、できる楽しさである。ゲームを考えると、常に、本時の学習のねらいを明確にしなが、検討する必要がある。	1
導入部のゲームは、本時のねらいに合致したものであり、児童がイメージを持ちやすいものにしなればいけないと思った。	1
40人学級の場合、教師主導によるゲームでは、参加できる児童に限られる。教師によるゲームと児童同士によるゲームを、準備しておくべきである。	1
電子黒板を使った英語科の授業について研修したい。	1
ヒントの出し方が良かった。(big meaw...) 言葉への気づきを促すヒントだった。	1
カリキュラムを参考にしつつ、クラスの実態に即しながら、工夫していくことの大切さを感じた。これからは、そのねらいをはずさないように、どこをどう工夫したら、子どもたちに英語の楽しさを味わってもらえるか?もっと教材研究をしていきたい。	1
英語の授業は、したことがないが、楽しそうで、私もやってみたいという思いを持つ研修でした。	1
指導助言いただいた講師の先生のお話が、明確だったので、今まで迷っていたことがはっきりし、これからの授業づくりのあり方がよく分かった。	1
快適な環境で気持ちよく研修することができました。会場校と幹事の皆さんに感謝です。	多数

評価について	
ほめ言葉が、日本語・英語ともにたくさんあった。子どもの意欲につながったと思う。	36
振り返りカードの学習途中での使用は、学習の流れを中断させるので、必要ないと思う。英語の場合、特に学習の流れは、重要である。	8
振り返りカードの内容として、技能面についてたずねるのは、重要である。技能の定着が目的でないのは当然であるが、授業の中で使われた表現をどの程度認識できたかは、英語への関心意欲の状況を確認する上で大切な内容である。	6
英語でのほめ言葉がたくさんあって良かった。種類も多かった。	5
振り返りカードを、児童の評価に活用するためには、授業中の活用も重要である。学習途中での評価を、カードに限らずもっと大切にしたい。	4
振り返りカードに、英語の日常化についての項目があるのは、大変良いと思う。	4
ほめ方についても、担任とAIEとうまく分担されていた。日本語や英語で、しっかり評価してあげたい。	2
授業の途中での振り返りにより、マイナス評価の児童への支援をどうしたら良いだろうか？中断させるわけにもいかないで・・・どのような指導をされているのか知りたい。	2
授業中の見取りには、限界がある。このような振り返りカードが重要である。	1
振り返りカードは、どのようにされるのか？また、児童へ、どのようにして返されるのか？教えて欲しい。	1
AIEと担任について その連携について	
2人の分担のバランスが重要だ。AIEの先生の発音をしっかりと聞かせたい。	25
担任とAIEの分担については、提案されたように、担任が全体を見て、AIEが個別の指導を行うというのが良いと思う。そのうえで、全体を見ていて、参加できないような児童や態度で気になる児童について、担任が指導することの方が良いと思う。	12
フラッシュカードを使って発音するのは、AIEが担当するべきである。よりよい発音にふれさせるべきである。	11
ALL ENGLISHの場合、分からないままの児童もかなりいると思う。特に5年生の初めとなると、多いと思われる。担任による日本語の説明も必要である。	7
分からないことがあれば、いつでも聞けるような雰囲気が、担任とAIEの先生のやりとりや声かけの様子などから、にじみ出ていた。2人の先生が協力しながら授業を進めている様子から、子どもたちは安心して学習に取り組んでいると思う。	6
役割の分担を明確にしないといけないと思った。	5
できた人は担任へ、分からない人はAIEへという、明確な指示と分担が、授業の流れをわかりやすくしていた。	3
少人数から大人数へと段階を踏まえた指導だったので、ALL ENGLISHでも、大丈夫だと思いました。	3
担任の先生がフラッシュカードをもって指導されていた。実際の授業でも、担任先生の指示や説明など、よく集中しているように思う。担任の先生の主導による授業が重要だと思う。	2
担任の先生の英語に対する思いに、AIEがあわせることが、子どもたちの英語への興味関心を促す最良の策だと思う。	2
担任の先生の英語がすばらしかった。謙遜されていたが、努力されているのだと感心した。	2
学習に参加できない児童を、どのように支援するか？打ち合わせでも、しっかり確認しておく必要がある。	1
担任の先生の英語力は、学習を進行していく上で、重要な要素であるが、英語が堪能であったとしても、AIEが、しっかり活躍できるようにしてもらいたい。また、英語ができなくても、日本語でしっかり説明したり、個別の支援をしたり、簡単な指示や評価などの英語を身につけるなど、担任の先生が主体となる授業にしてもらいたい。	1
ゲームのルールなどを説明する際は、日本語で行った後で、英語でも説明してみる。あるいは、その逆をしてもおもしろいと思う。	1
AIEとして、担任の先生の思いをしっかり聞きたいと思った。	1
担任が、授業をしっかり主導していくという強いメッセージをいただいた。そのくらいの思いで、授業を考え、AIEの先生のお力を活かしていきたいと思う。	1
担任の先生は、英語は使われないものと思いこんでいた。担任の先生と、使ってもらえそうな英語について話し合ってみよう。	1
担任として、短く簡単な英語、特に誉める言葉をしっかり使いたいと思った。	1
担任とAIEの分担について、10年後、どのような授業スタイルを求めていけばよいのか？担任の先生方のスキルアップによる担任の英語による授業か？あるいは、現行の分担による複数指導か？	1